令和５年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	014061_古平町
自治体区分	

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）		目標等の公表先
014061_古平町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	平日に家庭で3時間以上勉強する児童が0.0%、2～3時間が13.3%と全道平均を下回っており、学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている（令和4年度全国学力・学習状況調査）。	児童及び保護者に対し地域学校協働活動（放課後ふるびら塾）への参加を呼び掛け、登録者数を60%にする。また、児童への指導力を高めるため、講師に対して研修情報の提供及び参加を促す。	学校の授業以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	学校の授業以外の学習時間に関する古平町教育委員会の新規アンケート調査（年2回）	0	%	40	41	3	本事業（放課後ふるびら塾）について、学習支援員3名（地域人材）を配置し、毎週木曜日（全29回）の放課後に安定した学習機会を提供することができおり、別紙アンケート調査結果からも、児童の学習習慣の定着に一定の効果が認められる。 今後も引き続き本事業を安定して開催することで、学習習慣の充実を図り、日常的に学習を行う児童の増加に取り組むとともに、課題となっている1日の学習時間の増加に努める。	https://www.town.furubira.lg.jp/rearing/detail.php?id=40

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。